

国際福祉論

単位数	履修方法	配当学年
4単位	R	3年以上



科目コード	DH4115	担当教員	生田目 学文
-------	--------	------	--------

■科目の内容

国際福祉は古くて新しい分野です。国際福祉の活動には長年の取り組みがあり、その起源は19世紀にさかのぼることができます。近年は学問としての国際福祉研究も進んできました。

周知のように、日本は他国との相互依存関係によって現在の地位を築いてきました。今後は経済分野のみならず、福祉分野でも人的交流が進み、相互依存が深まり、日本の国際貢献が必要とされてくるでしょう。地球規模の視点からレポートに取り組んでください。

■到達目標

- 1) 「国際福祉」とは何か、3つの概念について説明できるようになること。
- 2) 少なくとも日本以外のひとつ以上の国の福祉状況について日本と比較しながら述べるができるようになること。
- 3) 日本の海外支援について具体的な事例を用いて解説できるようになること。

■教科書

- 1) 仲村優一ほか編著『グローバリゼーションと国際社会福祉』中央法規出版、2002年
- 2) 生田目学文「『国際福祉』概念の考察」『東北福祉大学研究紀要』第28巻、2004年

■在宅学習15のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	国際福祉とは	国際福祉の3概念を理解する。 キーワード：国際、福祉、国際社会福祉、社会福祉国際比較、世界福祉	国際福祉と呼ばれる分野は3つの研究視点に分けることができます。これを整理した上で具体的な内容に取り組むことで理解しやすくなるでしょう。
2	グローバリゼーションとは	グローバリゼーションとは何かを理解する。 キーワード：グローバリゼーション、国際化、冷戦、アメリカ化	グローバリゼーションはとても身近になった言葉ですが、曖昧でわかりにくい概念です。身の回りで起きていることでグローバリゼーションと関連していることをいくつか挙げられるでしょうか。
3	グローバリゼーション時代の福祉	冷戦終結後の1990年代から今世紀にかけて大きく変わってきた世界における福祉分野の現状を理解する。 キーワード：地域紛争、貧困、格差、国際機関、地域的枠組	冷戦後のグローバリゼーション時代到来とともに、福祉分野も大きな変動を余儀なくされました。大きな枠組みからこれを理解しましょう。

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
4	国際福祉と国家福祉	国家内の社会福祉政策と国際福祉との関連を理解する。 キーワード：社会福祉、国家福祉、国際福祉、選別主義、普遍主義、福祉国家	国家福祉の諸理論を整理し、さまざまな視点から分析することによって国家福祉の現状を理解しましょう。
5	国際福祉の現状と展望	国際社会が現在いかなる問題を抱えているかを理解する。 キーワード：国家、国際機関、国際 NGO、NPO、ボランティア団体	国家をはじめとするさまざまな行為主体が多岐にわたる国際福祉問題に取り組んでいます。現在どのような問題が重要になっているのか理解しましょう。
6	アジアにおける福祉	アジアにおける国際福祉の課題について理解する。 キーワード：アジア、多様性、制度（ガバナンス）	アジアは非常に広く、多様な地域です。国境を越えてそこに存在する深刻な問題について理解しましょう。
7	アジアの貧困問題	アジアにおいてとくに深刻な貧困・格差の問題について理解する。 キーワード：貧困、格差、植民地支配、多国籍企業	グローバル化の進展に伴い、アジアにおける貧困・格差の問題は深刻化している現状を理解しましょう。
8	アジアの環境問題	アジアの環境問題について多角的に視る。 キーワード：貧困、環境、人口、エネルギー、女性	アジアの貧困問題と環境破壊の問題は、個別に解決できるものではない、複雑に関連し増幅し合う複合的な問題であることを理解しましょう。
9	アジアの児童労働問題	アジアの児童労働問題について理解する。 キーワード：貧困、格差、ストリートチルドレン、多国籍企業、フェアトレード	アジアにおける児童労働問題の歴史的経緯と現代の市場主義的資本主義構造との関連を理解し、解決に向けての方策について考察しましょう。
10	国際福祉システム	国際福祉システムのあり方について考察する。 キーワード：国際福祉、人間福祉、システム	国家の枠を超えた国際福祉システムのあり方について、政治・経済・社会・文化という4つの視覚から、将来あるべき福祉世界の実現を考察しましょう。
11	国際機関と国際福祉	国際連合をはじめとする国際機関の役割について理解する。 キーワード：国際機関、国際連合、経済開発、社会開発、人間開発	国際連合をはじめとする国際機関が第2次世界大戦後に果たしてきた役割および、経済開発から社会開発、さらに人間開発への流れについて理解しましょう。
12	国際協力と国際福祉	国際協力の歴史的発展について理解する。 キーワード：国際協力、国連開発の10年、南北格差	国際協力の歴史的発展過程を学び、戦後大きな問題となった南北格差の問題解決に向けての取り組みとその結果および課題について理解しましょう。
13	国際福祉における日本の役割①	日本のODAの現状と課題を理解する。 キーワード：ODA、国際協力機構、ひも付き援助、要請主義	日本政府が行ってきた政府開発援助（ODA）の果たしてきた役割を学び、今後の課題について考察しましょう。

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
14	国際福祉における日本の役割 ②	日本の NGO の現状と課題を理解する。 キーワード：NGO、顔の見える援助、政策提言機能	日本の非政府組織（NGO）が果たしてきた役割を理解し、ODA との相互補完関係および今後の課題について考えましょう。
15	まとめ	国際福祉分野において私たち一人ひとりができることについて考察する。 キーワード：グローバル化、国際福祉	グローバル化が進む国際社会における国際福祉のあり方を整理し、一人ひとりがいかにして具体的な事例における実践的な行動をすべきかについて考えましょう。

■レポート課題

1 単位め	「国際福祉」とは何かについてまとめてください。
2 単位め	グローバル化と国際福祉について論じてください。
3 単位め	アジアにおける国際福祉について考察してください。
4 単位め	国際福祉分野において日本が果たすべき役割について論考してください。

■アドバイス

1 単位め アドバイス

ません。

テキスト『「国際福祉」概念の考察』および『グローバル化と国際社会福祉』第2章を読み、「国際福祉」の概念がこれまでどのような意味で使われてきたのかを明らかにし、「国際福祉」三概念を整理してください。ここで認識論の議論に踏み込む必要はありません。

2 単位め アドバイス

(4)国際福祉と国家との関連について論じてください。

(1)テキスト『グローバル化と国際社会福祉』第1章を読んでください。(2)昨今のグローバル化（グローバル化、地球規模化）について説明し、(3)そこに起きている具体的な事例（例えば地域紛争や飢餓、国際経済協力など）をひとつ検証しながら、

3 単位め アドバイス

テキスト『グローバル化と国際社会福祉』第3章および第4章を読み、アジアの発展途上国にある深刻な社会問題をひとつ題材として、その解決策について考察してください。

4 単位め アドバイス

テキストで『グローバル化と国際社会福祉』第5章および第6章を読み、国際福祉分野において日本が果たすべき役割についてまとめてください。

■レポート評価の基準

(1) 設問に答えているか（書いていくうちに話がそれないこと）。

- (2) 筋が通っているか（一貫した論理・話の最初と最後が矛盾しないこと）。
- (3) 結論・主張がしっかりしているか（自分の持っている考えを伝えること）。

レポートとは小論文です。字数制限もあることなので、書き始める前に以上の点を踏まえながらレポートの構成、アウトラインをまず作成し、たとえば序論・本論・結論という流れをまず作ることが必要です。

■科目修了試験 評価基準

- ・ 出題された設問の内容についてきちんと理解しこれに答えることができるか。
- ・ 用語について一般的な基本事項が理解されているか。
- ・ 解答は筋が通っているか、一貫した論理構成であること。
- ・ 結論において自分が持っている考えをしっかりと主張できているか。

■参考図書

- 1) ジェームズ・ミッジリィ著『国際社会福祉論』中央法規出版、1999年
- 2) 川村匡由編著『国際社会福祉論』ミネルヴァ書房、2004年
- 3) そのほか、テキスト『グローバリゼーションと国際社会福祉』各章にある参考文献を参照。

※テキストや参考文献は古いものが多いので、図書館やインターネットを活用して積極的に新しい情報を取り入れてください。